

分会情報

J R 東海労新幹線関西地本 大阪修繕車両所分会

No. 20 2009. 12. 25.

発行責任者 坂東 貞男

編集責任者 教 宣 部

9条連・近畿2009総会と講演会が開催される！

『鳩』は平和を運ぶか - 羽ばたけ9条！

12月20日、東淀川人権分化センターにおいて9条連近畿(憲法9条 世界へ未来へ近畿地方連絡会)の2009総会と講演会が開催され、大阪修繕車両所分会からも上杉本部執行委員と中村副分会長が参加しました。

2009総会は、高田事務局次長による司会兼議長の名采配で、2009年活動報告、2010年活動方針、佐々木事務局長による会計報告と滞りなくスムーズに進められました。

続いて、佐藤優氏(作家・元外務省主任分析官)による講演が行われました。

『戦争になれば一番に攻撃されるのは鉄道である 鉄道労働者が平和活動をするのは当然の事である』

佐藤優氏の講演は、次の8つの点について行われました。

①9条連と私の関わりについて ②JR総連を私はどう見ているのか ③私がこういったことに取り組む3つの理由 ④民主党政権をどう見ているか、今どのような権力闘争が権力内部で行われているか ⑤オバマさんという人はどういう人か ⑥普天間移設をどう見るか ⑦鉄道労働者が何故反戦・平和活動を行うのか ⑧物書きの立場の私が何故こういうことに関与しているのかです。

少し紹介しますと、○先頃、核廃絶を訴えてノーベル平和賞を受賞したアメリカ合衆国オバマ大統領は平和主義者ではなく、核を廃絶することでアメリカが通常兵器で圧倒的優位に立つことを冷徹に計算している、オバマ大統領はアメリカの国益のためなら軍事力行使に何の躊躇もしない帝国主義者である。

○戦争が起きた場合、最初に駅が攻撃され列車が攻撃されるのである、鉄道労働者たちが一番の犠牲者になる、或いは逆に軍事物資輸送で戦争に荷担させられる、その時に反戦・平和がいかに大事であるか、労働者は平和の中で仕事し賃金を稼ぎ家族を養うのである。だからこそ鉄道労働者が平和活動やるのは当然のことである。

等々、佐藤氏はユーモアも交えながら私たちにも分かり易い内容の講演を約90分、そして、参加者のすべての質問に対してタブー無しに答えていただきました。



佐藤 優(さとう まさる、1960年埼玉県生まれ)は、日本の元外交官、文筆家。ロシア情報収集・分析のエキスパートとして活躍し、「戦後最強の外交官」「外務省のラスプーチン」などの異名をとった。同志社大学神学部卒業、同大学院神学研究科修了。

2002年5月に鈴木宗男事件に絡む背任容疑で逮捕。同年7月に偽計業務妨害容疑で再逮捕。無罪を主張するが1審で有罪、2審で控訴棄却、2009年6月上告棄却。懲役刑が確定したため同日付で外務省職員から失職。1審判決後、事件の内幕や背景などをつづった著書『国家の罠』を出版。以降、執筆・講演活動。